

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

日清紡精機広島株式会社 本社工場

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市高屋台1丁目3番30号

(3) 業種

自動車部分品・附属品製造業 (3113)

2 計画の期間

本計画の期間は、平成23年度を基準年度とし、平成24年度から平成28年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)		目標年度		計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))							
	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度	平成	年度
エネルギー起源CO ₂			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー起源CO ₂			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他温室効果ガス			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス実排出量総計			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガスみなし排出量												
実績に対する自己評価												

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 生産数量(単位:千台)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度		計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成23年度	平成28年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
エネルギー起源CO ₂	1.387	1.317	1.062	1.157	1.215	1.452	1.837	
		-5.1	23.5	16.6	12.4	-4.7	-32.4	
非エネルギー起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
温室効果ガス排出量総計	1.387	1.317	1.062	1.157	1.215	1.452	1.837	
		-5.1	23.5	16.6	12.4	-4.7	-32.4	
エネルギー消費原単位 (原油換算kt)	0.4852	0.4609	0.4084	0.3965	0.4272	0.5190	0.6638	
		-5.0	15.8	18.3	12.0	-7.0	-36.8	
実績に対する自己評価	<p>原単位は平成24年度から平成26年度まで目標値をクリアしていたものの、削減量の対基準年度比が年々に低下、平成27年度以降は大幅に悪化して目標値未達となった。 CO₂排出量総計では、平成28年度が1273t-CO₂、基準年2713t-CO₂に対し、削減量が53.1%となった。一方で、生産数量は、平成28年度が693千台となり、基準年1956千台に対し64.6%の減少量となった。 製造品目のウェイト変化による生産数縮小が進んでいることもあるが、上述から分かるように工場が全体的に、数値上では規模縮小化の傾向にあり、ベースエネルギーの削減が追従し難い規模に近付いていると察する。</p>							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

項目	削減量等	具体的な取組み
1 燃料使用量の廃止	燃料の使用によるエネルギー 起源CO2原単位は対基準年度で 100%削減	大型空調設備のボイラーを完全停止（廃止）とし、必要な職場へ個別エアコンを設置して、重油使用を廃止した。
2 電気使用量の削減	電気の使用によるエネルギー 起源CO2排出は対基準年度で 46.9%削減 (削減量1125t-CO2)	冷暖房温度の適正管理（夏28℃、冬18℃） 空調機の運転時間短縮 休憩時間の消灯の設定 エアコンプレッサの運転負荷低減 エア圧力設定の運転適正化 生産設備の効率的な運用 空調ボイラー廃止 照明器具の高効率タイプ更新（その他参照）
3		
4		

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

種類	合計量
1	
2	
3	

○ その他の取組み

項目	削減量等	具体的な取組み
1 空調使用低減による 重油、電気使用量削減	約260t-CO2（重油78kL、電気 835000kwh）の削減	2F職場（加工場、組立職場、事務所）を 1Fにレイアウト。空調エリアを集約し、 空調使用低減を図る。 （平成24年度実施済）
2 工場照明の取替え （事務所、組立職場）	年間約28t-CO2（40322kwh）の 削減見込み （従来品より71%を削減）	総務・開発営業事務所、1F組立職場、物流 事務所、洗浄職場、精密測定室、製造事務 所、各会議室他 （110w蛍光灯ランプ×234本、40w蛍光灯ラ ンプ×103本）
3 工場照明の取替え （加工職場）	年間約26t-CO2（37632kwh）の 削減見込み （従来品より65%を削減）	1F加工場（70w水銀灯×88台） トラックヤード（150w水銀灯×8台） 1F物流（200w水銀灯×31台） 工機保全・WHC加工ライン（400w水銀灯×33 台）

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。